



## 子供たちの豊かな学びのために

副校長 前多 紀子

令和3年度が始まって、一か月が経ちました。子供たちは新しいクラスにもすっかりと慣れ、落ち着いた学習環境の中で生活しています。

今年度はGIGAスクール構想の元年度として、学校教育の歴史の中でも大きな変革の年となります。今まで、教科書や黒板、ノートを使って学習をすすめていたものが、一人1台端末の環境のもと、デジタル教科書やデジタル教材も使って、子供一人一人に合わせ個別最適化された学びを行っていきます。

先日、5年生の教室では、子供たちが一人一人に与えられたIDとPWをタブレット端末に登録する作業を行っていました。教師がモニターを使って作業について説明を行っていましたが、子供たちは驚くほど順調に一つ一つの登録作業をこなしていました。また、PCの得意な子供が、すすんで友達に教える場面も見られました。



子供たちだけで登録作業が難しい学年については、現在、教職員で一台ずつ登録作業をすすめているところです。今後、各教科等においてタブレット端末をどのようにして効果的に活用し、日常的な学習活動に位置付けていくかを考えていきます。

さて、今年度、もう一つ三小で重点的に取り組んでいきたいと考えていることが地域との連携です。

昨年度より全面実施となった小学校学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」が掲げられており、教育課程の実施にあたっては、地域の人的資源等を活用し、学校教育を学校内に閉じずに社会と連携しながら実現することが求められています。昨年度はコロナ禍ということもあり、外部の方をゲストティーチャーとしてお招きした授業の実施には制限がありました。現在も3回目の緊急事態宣言中ですが、学校は子供たちの教育活動を止めるわけにはいきません。この状況下でもできることに取り組み、子供たちの豊かな学びの保証のため、土台づくりを行ってまいります。今後、保護者、地域の皆様のサポートをいただくために、ボランティア登録用紙を配布予定です。もしお力添えをいただけるものがありましたら、✓を入れていただきご提出ください。無理なく、できることからご協力をよろしくお願いいたします。

子供たちは学校や家庭だけでなく、地域の豊かな関わりの中で育てられます。時折、地域の方から子供たちの放課後の過ごし方についてご連絡をいただくことがあります。もちろん、学校では指導を継続して行っていますが、もし、子供たちの間違った行動を見かけたら「ダメなことはダメ」とその場を捉えてご指導ください。子供たちの健やかな成長のために、学校と家庭、そして地域の皆様とともに子供たちの『共育』を考えていきたいと考えています。また、先日、各家庭に保護者向けリーフレット「どうしたの？一声かけてみませんか」を配布しました。もしも、子供たちに少しでも気になる様子が見られたら、近くの大人や学校、相談機関へ相談するよう、積極的に子供たちへのお声掛けをお願いします。

## 春の全国交通安全運動週間

4月6日（火）から15日（木）は春の全国交通安全運動週間でした。本多図書館の館長さんをはじめ、国分寺市教育委員会の方々も、朝早くから子供たちの安全な登校のため、見守りをしていただきました。

また、地域の皆様の温かな見守りのご支援により、子供たちの安心な登下校が守られています。



## 集団登校

本校では毎年、始業式の翌日から2日間、PTAの方にご協力いただいて集団登校を行っています。昨年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、1年生のみ実施という異例の形で実施したため、3～6年生は2年ぶりの集団登校でした。特に、1年生は初めて一人で学校へ行くことになるため、同じ地域のお兄さんやお姉さんと通学路をしっかりと確認する大切な機会です。今回、通学路に関していろいろと課題も見えてきました。今後、PTAの役員の皆様とも連携を図りながら、改善を図ってまいります。子供たちの安全な学校生活のため、引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



《集団登校後、校庭で学年ごとに整列する様子》

## 家庭における感染症対策について

### ○ゴールデンウィークへ向けて

新学期が始まって一か月が経ち、子供たちに疲れの様子が見られます。先日、配布しました『緊急事態宣言の発出に伴う対応について』でもお知らせしましたが、明日から始まるゴールデンウィーク期間も引き続き不要不急の外出はお控えいただき、自宅でゆっくりと休ませていただきますよう、よろしくお願いいたします。

#### ～東京都教育委員会から～

御家庭におかれましても、感染予防の徹底をお願いします。

- 不要不急の外出自粛
- 昼夜、屋内外を問わず、家族以外の方との会食を自粛
- 三密の回避、正しい手洗い、咳エチケット（マスクの着用）
- 十分な換気
- 手が触れる場所の消毒



## 離任した方からの言葉



第三小学校の児童の皆様、保護者の皆様お久しぶりです。三小には3年間しかおりませんでしたでしたが、私の教職人生の中で最も充実した月日でした。子供たちとはよく遊び、保護者の皆様とはよく話すことができました。充実した3年間でどうもありがとうございました。

小林 卓 校長

三小では、7年間お世話になりました。子供たちと一緒にたくさんのことを学び、成長させてもらった7年間でした。温かく見守っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

片桐 光義 先生

何事にも真剣に取り組む子供たちと、6年間一緒に学ぶことができ本当に幸せでした。いつも温かい励ましと、たくさんの協力をしてくださった保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、三小の子供たちの活躍を応援しています。本当にありがとうございました。

佐向 顕子 先生

三小では、三年間お世話になりました。礼儀正しく、どんなことにも一生懸命取り組み、勉強にも遊びにも本気で取り組む三小の子供たちが大好きでした。素晴らしい子供たちに囲まれ、保護者の皆様や、地域に温かく支えていただき感謝しております。大変お世話になりました。

島崎 慎吾 先生

14年間に渡り、お世話になりました。その間に60周年、70周年と2回の周年行事も経験させていただいた思い出深い学校です。昨年度で任期満了を迎え、退職させていただきましたが、これからは講師として細やかながらお手伝いできればと思っています。

小澤 諡子 先生

三小には、大学2年生の時からと、大変長くお世話になりました。一緒に学習したり生活したりする中で、多くのことを学ぶことができました。保護者の皆様、地域の皆様、様々な面で支えていただき、ありがとうございました。これからの子供たちの成長を願っています。

齋藤 拓朗 先生

現3・6・中学2年生の担任をさせていただきました。どの子も明るく元気で、一緒に勉強していてとても楽しかったです。三小の子たちが、これからも勉強に励み、世界で活躍してくれることを期待しています。3年間、ありがとうございました。

町田 壮吾 先生

一年間という短い間でしたが、三小のみなさんが明るく素直で、色々なことに前向きに取り組んでいる姿を見させていただいて、とても心豊かな毎日を過ごすことができました。これからも友達と「ゆめ」を大切に学校生活を楽しんでください。ありがとうございました。

吉岡 栄 支援員

6年間お世話になりました。毎日明るく挨拶してくれる子供たちに元気をいただいていたいました。これからも三小の子供たちの活躍を願っています。

上坂 光男 管理員

## 三小道徳コラム

道徳推進教諭 藤原あゆこ

宮沢章二さんの詩「行為の意味」の一部に『『こころ』はだれにも見えないけれど『こころづかい』は見えるのだ』とあります。「特別の教科 道徳」では、目に見えない心を耕す時間です。目に見えない心を教材に映し、言葉で伝え合う活動を通して、子供たちの自信と誇りを育んでいきます。

今年度は、「思いやり」と「規則の尊重」に重点をおき、道徳の授業を行います。ルールや規則を守って学校生活を送り、思いやりの心をもって友達とかかわっていけるよう充実した道徳の時間にしていきます。

## 5月の主な予定

3日	月	憲法記念日	17日	月	安全指導 教育実習始 運動会係活動② ※係活動がない学年は5時間授業
4日	火	みどりの日	18日	火	尿検査2次
5日	水	こどもの日	19日	水	小中連携授業のため5時間授業 尿検査2次予備日
6日	木	クラブ 耳鼻科検診（全学年）	20日	木	移動教室説明会のため5時間授業 （6年生）
7日	金	視力検査（2年生）	24日	月	運動会係活動③ ※係活動がない学年は5時間授業
8日	土	P T A運営委員会	25日	火	運動会全体練習①
10日	月	避難訓練 視力検査	26日	水	運動会全体練習②
11日	火	校庭整備のため5時間授業	27日	木	運動会全体練習予備日 全国学力調査（6年生）
13日	木	運動会特別時程始 内科検診 （1年生・2年生・5年3、4組）	28日	金	運動会リハーサル 運動会前日準備 ※準備がない学年は4時間授業
14日	金	運動会係活動① ※係活動がない学年は5時間授業	29日	土	運動会

※毎週木曜日がスクールカウンセラーの勤務日となります。

※今月は6日（火）、27日（火）がスクールソーシャルワーカーの勤務日となります。



### 三小研究コラム

教科担任制の実施と GIGA スクール構想について

研究主任 兒玉 正教

本校では本年度より、東京都教育委員会から小学校教科担任制等推進校の指定を受け、高学年の学級を対象に、中学校に準じた教科担任制を実施しています。具体的には、教科ごとに教える教員が変わる指導形態のことです。（算数については、従来通りの習熟度別）

2022年を目途に、都内でも各学校で順次実施していくことになる施策ではありますが、本校はその先駆けとして研究を進めていきます。この制度を導入することで、より専門性の高い「分かる授業・考える授業」の実現を目指し、中学校進学に向けて円滑な接続を図っていきます。

また、学年・専科のまとまりで学年全体の子供たちを捉えることで、より多角的に児童理解を進めていきます。そして、全児童に配布したタブレット端末を活用し、一人一人の学習状況に応じた学びを行うことで、高学年だけでなく、全児童の学力の向上も図っていきます。

先例のない新たな取組ですので、試行錯誤の時期が続きますが、目標の実現に向けて一歩ずつ全職員で研究を進めていきます。